

報告書(2部構成)のページ内容と解説

I. 報告書

ページ	集計・分析の内容
P. 8 ~ P. 9	普段乗っている艇種と今後、乗りたいと考えている艇種の集計です *選手・指導者の意見の集約であり貴重なデータであると思います
P. 10 ~ P. 11	国体で取り組むべく艇種のまとめとなっています。 *回答いただいた方々の意見の集約の意味で重要であると考えます。
P. 12 ~ P. 43	国体、インターハイ、インカレのそれぞれで取り組むべき艇種の希望です
P. 12 ~ P. 27	現在、それぞれの大会で実施されているカテゴリについての意見です *それぞれに集計結果のコメントを記載しています
(1)	P. 12~21【国体】 成年男子二人乗りから成年女子ウインドサーフィン級までの10のカテゴリ毎
(2)	P. 22~23【インターハイ】 二人乗り男子、女子
(3)	P. 24~25【インカレ】 二人乗り男子、女子
(4)	P. 26~27【インカレ】 ウインドサーフィン男子、女子
P. 28 ~ P. 43	現在はそれぞれの大会で実施されていないカテゴリについての意見です
(1)	P. 28~29【インターハイ】 一人乗り男子、女子 *コメントは付けていませんが男女共にレーザーラジアルが突出しています
(2)	P. 30~31【インカレ】 一人乗り男子、女子 *コメントは付けていませんが男子はレーザー、女子はラジアルが突出しています
(3)	P. 32~33【国体】 国体少年ウインドサーフィン
(4)	P. 34~35【インターハイ】 ウインドサーフィン
(5)	P. 36~43【国体、インターハイ、インカレ】におけるハイパフォーマンスディンギー
P. 44	国体、高校、大学で取り組むべき艇種を選択した理由の集計です
P. 45 ~ P. 47	大会におけるチャーター艇に関する質問の回答です ・チャーター艇の希望の有無 ・チャーター艇を用意することによって艇種変更が可能になるか否か ・チャーター艇が用意された場合、一定の費用負担が可能か否か これらの質問に対する回答の集計です
P. 48	艇種を変更する場合の問題点の質問です *コメントに記載していますが「経済的理由」が63%と突出しています

II. 自由回答集

ページ	自由回答の内容
P. 1 ~ P. 7	普段乗っている艇の所有者の集計です P.1 全体の集計 P.2~7 個別の回答 *企業、学校、県連所有が70%近く、艇種変更の場合の費用捻出が今後の大きな問題と考えられます
P. 8 ~ P. 21	取り組むべく艇種の個々の理由です *選手・役員に分かれています
P. 22 ~ P. 23	艇種変更の問題点についての個々の理由です *選手・役員に分かれています
P. 24 ~ P. 29	現在の艇種についての個々の意見です *選手・役員に分かれています
P. 30 ~ P. 32	オリンピック特別委員会、ジュニア・ユース育成強化委員会に対する要望等についての個々の意見です